



夏至も過ぎ、梅雨空が続いていますが、皆様お元気でしょうか。今年は雨が少ないと聞いていますが、梅雨時はやはりうっとうしく感じます。

本会報も今回で第10号となりました。皆様のお陰で無事発行が続いていることに感謝いたします。ありがとうございます。本号から少し内容を改めました。より身近なものになっていければと願っています。今後ともご支援をよろしくお願いいたします。

## 【ニュース】

### 中野アンテナストリートに出店

5月6日（土）中野セントラルパークで行われた中野アンテナストリートに出店し、今回はマリンカン、風飛行機、スーパー紙鉄砲を販売しました。

マリンカンはサンワーク田無（障がい者さんの作業所）に制作を依頼して作っていただきました。表面の質感も美しく、外観だけでも目を奪われます。風飛行機は季節に合わせて鯉のぼりのプリントが施され、紙の厚さも増しました。スーパー紙鉄砲は表面にクリアファイルを切ったものが貼られていて、丈夫さが格段に上がりました。

お店には「池田邦太郎」ののぼりやミニ黒板付きのパネルを設置。マリンカンにはNPOのURL入りのロゴシールを貼りました。風飛行機とスーパー紙鉄砲は袋に入れてセット販売したので、その袋の中にNPOのチラシを入れ、本団体の存在アピールに努めました。

大きな音で呼び込む物が無かったため、通り行く人に呼び止めてマリンカンの音を聴いてもらいました。中には「おの音がいいから買って！」とせがむ子どももいました。また、風が強かったので、風飛行機は上手く飛ばせませんでした。飛んでいる様子を見て買い求めて来た家族もいました。





## 【 紹 介 し ま す ！ 】

理事長：池田邦太郎

『自由連弾』は私が 1985 年に赴任した八王子第二小学校で、児童と一緒にピアノで音遊びをするうちに編み出したオリジナルな手法です。この『自由連弾』は全くのピアノ未経験者でも、とにかく音さえ出せば、同じ音をポン・ポン・ポンと弾き続けるだけでも、その音に私が呼応して音を出し、いつの間にかこの世に二つと無い、聴き応えのあるピアノ連弾曲・音楽になってしまうのが最大の魅力。自分が何気なく出した音がきっかけとなって旋律が生まれ、更にはハーモニーとなって連弾曲に仕上がっていく醍醐味は、実際に聴いたり経験してみないと分かって頂けないと思います。そこで今回は一昨年からお邪魔している墨田区の「すみだふれあいセンター福祉作業所」（以後「ふれあい」）の皆さんとの活動の様子を紹介しながら、その魅力を少しでも皆さんにお伝えしたいと思います。

「ふれあい」の皆さんとは一昨年の12月に墨田区が主催する「墨田スマイルフェスティバル」の舞台に参加する演目の指導を依頼された時からのお付き合いなのですが、まずは全員の方に『自由連弾』を経験していただきました。（実際に舞台上で演奏された方は4名）舞台演目時間は各施設15分。他のグループは歌やハンドベルでの合奏・演劇等どれも練習の成果が現れた素敵な舞台でした。「ふれあい」は、手作り楽器などを使った創作音楽作品で、その中に『自由連弾』を織り交ぜて演奏したのですが、練習したのは本番前のリハーサルも入れてたったの3回。その3回で15分の演目を仕上げたのです。「ふれあい」の演目は『自由連弾』を含めて、音を楽しむONGAKUをする心さえあれば練習はそれで充分！作品全体についてはまたの機会にお話しします。

この『自由連弾』では、ただただ出てくるピアノの音を楽しんでもらえればそれで連弾が成立してしまうのですが、「ピアノなんか弾いたこともないのに連弾なんて・・・」と緊張される方も多くいらっしゃいます。やっているうちに次第に慣れてきて、演奏を終えた時には皆さん笑顔になっていらっしゃいますが、この「ふれあい」の皆さんは殆どの方が初めから自由に『自由連弾』を楽しんでくれたのです。その中に何回も積極的且つエネルギーに連弾して下さる女性がいらっしゃって、私はとても嬉しかった。後からスタッフの方に「普段はとても静かな、どちらかと言えば消極的な方なので、あんなに積極的だったのでビックリしました」とコメントを頂いたり、こちらが思わず唖ってしまうようなアーティスティックな音を出される方がいらっしゃったりでとても楽しいひと時を過ごすことができました。

しかし、「ふれあい」で感じた『自由連弾』の凄さを実感したのは、それから一年後の昨年、再び「墨田スマイルフェスティバル」の指導を依頼されて皆さんにお会いした時の事なのです。

（以下次号）

## シリーズ【手作り楽器のお話】 ～マリンカン～その1

水の流れる音は私たちの脳と身体に優しく響き、心を癒やしてくれる自然の音です。そんな流水音を何時でも何処へでも携帯できる音具【マリンカン】を紹介します。

用意する物

- 缶コーヒーの空き缶2個
- 百均で売っている台所用防水アルミテープ  
(幅 3Cm～7Cm までありますがなるべく幅広の物を用意してください)
- ボンド
- 箸

缶コーヒーの空き缶は繋ぎ目無しの一体型と繋ぎ目のある物との2種類があります。水はどんな小さな隙間からでも漏れてしまうので、繋ぎ目のある物を用意した場合は2本とも写真①の様に飲み口そばの部分にボンドをほんの一塗りしておきます。一方の缶に水を一杯にいれ、飲み口と飲み口が合わさるように重ねて防水アルミテープを写真②の様に貼ります。その際に、少し引っ張りながらシワにならない様にピンと貼るのがコツです。それでもシワは残るので写真③の様に箸で擦って、シワを1本残らず潰したら出来上がりです。

写真①



写真②



## 写真③

### 【音雑感】

理事：佐藤南

「ナスを洗ったときの音」

音楽の授業の「音を聴く」時間。子供たちは自分のお気に入りの音を探して持てきます。

ある日、4年生の男子が「先生、手を水につけたいのでバケツを借りてもいいですか?」と言ってきました。私は水の音を聴かせたいのかなと思って、彼にバケツを渡しました。すると彼は袋から大事そうに1本のナスを取り出し、水のついた手でキュッキュッとこすり始めました。

目をつぶって音を聴いていた子供たちは、何の音だろうと不思議そうに聴いていました。それは、今まで「音を聴く」時間に聴いたことのない音でした。みんなに音を聴かせたら、目を開けて何の音だったか紹介します。ナスを持ってきた彼が「僕は、ナスをこすった音です。」と言うと、「へー、ナスだったんだ。もう一回聴かせて!」と他の子供たち。彼が手を水につけてナスをこすると「いい音だね。」との声があちこちから聞こえてきます。私が「どんな時にこの音を見つけたのですか?」と彼に尋ねると、「お母さんの手伝いをしている、ナスを洗ったからキュッキュッと音がして、いい音だなと思ったので持ってきました。」と答えました。

このナスの音は、彼の家での温かい光景と重なって、とても素敵に聴こえました。子供達のお気に入りの音には、このような日常の心温まる光景とも重なっています。

### 【今後の活動予定】

～ご参加などについては、本会事務局までご連絡ください～

- ★7月24日（月）畑町ガーデン 9：30～12：00
- ★7月30日（日）ワークショップ14：00～16：30（中野区産業振興センター）
- ★11月18日（土）ワークショップ（明星大学）・・・詳細未定

### ■賛助会員を募集しています！

本会の活動は殆ど全て会員の皆様の会費で賄われています。本会の事業の趣旨に賛同し、ご支援していただける方は、是非賛助会員になってください。現会員の方は、お知り合いの方などにお声をおかけください。賛助会員になってくださる方（または誘ってくださった会員の方）は、まず下記の事務局までご連絡ください。

賛助会費は、年間3000円です。よろしくお願い致します。

- |     |   |
|-----|---|
| 振込先 | ① ◆三菱東京UFJ銀行 向島支店 ◆口座番号：普通 0088065<br>◆名義名：NPO法人 音を楽しむONGAKUの会理事長 池田邦太郎 |
|     | ② ◆ゆうちょ銀行 ◆口座記号：10090 口座番号：18396671<br>◆加入者名：トクヒ）オトヲタノシムオンガクノカイ         |

NPO法人 「音」を「楽」しむONGAKUの会

〒131-0032 東京都墨田区東向島2-34-12 サニーフラット202号

PHONE&FAX:03-3610-2292

E-mail [otoiawase@oto.or.jp](mailto:otoiawase@oto.or.jp)

URL <http://www.oto.or.jp>